

**2022年度**

## **これからの企業経営を考える研究会**

《今年度統括テーマ》

### **【企業経営の本質を問い、変革のシナリオを考える】**

**期 間** 2022年1月～2022年12月(毎月1回全11回)18:30～20:00  
**定 員** 30社(年度途中のご参加も可能です)  
**年会費** 1社400,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)  
**開催形式** オンラインを原則とする

#### **コーディネータ**

**富山 和彦** (株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長・  
株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長・  
公益社団法人経済同友会政策審議会委員長)  
**新宅 純二郎** (経営研究所副所長・東京大学大学院経済学研究科教授)  
**内野 崇** (学習院大学名誉教授)

**一般社団法人 経営研究所**

### **【2022年度これからの企業経営を考える研究会のご案内】**

経営のグローバル化、IT革命・DXの進展、技術進歩のスピード加速、市場の多様性と複雑性の増大、調和と統合をめざした世界の衝突と分断、想定外の世界的な新型コロナパンデミックの広がり等、世界はまさに環境激変の時代であります。今日ほど経営(者)の質、経営意思決定の正否、経営の仕組み、経営変革力が問われる時代はないように思います。本研究会は、経営の本質を問い、経営意思決定のあり方、その仕組み等を正面から取り上げ、併せて企業経営を担うトップ人材のあり方・育成等について一理論と実務の双方の視点に立って検討を行う研究会です。日本を代表するターンアラウンダー(企業再生の達人)であり、企業経営並びに経営者論の第一人者である富山と、戦略論の泰斗、新宅に加え、企業変革論の内野をコーディネータに、多彩なゲストを招聘し、経営の本質とその変革！に迫ります。

2022年度は、DXの進展とウィズコロナの時代にあって、改めて「**企業経営の本質を問い、変革のシナリオを考える**」というテーマを掲げ、日本を代表する著名な経営者、研究者を招聘し、①これからの企業変革をどう考えたらよいか、②これからのトップマネジメント組織のあり方、③経営意思決定の仕組みとプロセスのコアをどう考えたらよいか、④これからのポートフォリオマネジメントのあり方、⑤真の経営者像とは、等、「**経営の本質**」に迫るテーマを取り上げ、マネジメント変革のシナリオと指針を提供します。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げております。

**【2022年度 研究会年間予定】**

(原則第2火曜日 18:30～20:00、8月休会)

第1回	1月11日(火)	「日本企業のPMIの現実と課題～グループ経営とグループガバナンスを中心に」 岡 俊子氏(明治大学大学院 グローバルビジネス研究科教授 ) * 産業構造審議会委員、三菱商事、ソニー、ENEOS取締役等を歴任
第2回	2月8日(火)	「地球温暖化とエネルギー産業の新潮流」 千本 倅生氏(株式会社 レノバ取締役会長、元イー・アクセス取締役会長)
第3回	3月22日(火) 18:00～19:30 時間変更・第4火曜	「私の企業経営論」 川村 隆氏(株式会社日立製作所 名誉会長)
第4回	4月12日(火)	「シリコンバレーから見た日本の未来」 伊佐山 元氏(株式会社WiL 共同創業者CEO)
第5回	5月24日(火) 第4火曜日	「経済社会の変革と企業の役割」 峰岸 真澄氏(株式会社リクルートホールディングス代表取締役会長 兼 取締役会議長)
第6回	6月14日(火)	「日本における社長後継と経営者育成の課題」 岩上 順一氏 (エゴンゼンダー株式会社 金融グループ責任者)
第7回	7月12日(火)	「野生化するイノベーション」(世界の学会の最高峰シュンペーター賞21年受賞) 清水 洋氏(早稲田大学商学大学院 教授)
第8回	9月13日(火)	「「変革のリーダーシップ」～現場で学んだ企業変革において大切なこと～」 知識 賢治氏(元日本交通株式会社 代表取締役社長)
第9回	10月18日(火)	「メディアビッグバンとこれからのメディア」 佐々木 紀彦氏(元 NewsPicks 編集長 PIVOT 株式会社代表取締役社長)
第10回	11月8日(火)	「海外 M&A と買収後の PMI とガバナンス」 新貝 康司氏(元 日本たばこ産業株式会社代表取締役副社長兼副CEO)
第11回	12月13日(火)	「リアル「両利きの経営」の真髄」 富山 和彦(株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長・ 株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長)

(テーマは仮題となります)

**【2021年度 これからの企業経営を考える研究会 テーマ・提言者一覧】**(提言者の所属はご提言当時のものです)

- 「経営者が備えておくべき危機対応力」 木川 眞氏 (ヤマトホールディングス株式会社特別顧問)
- 「昭和電線グループのガバナンス大改革への挑戦」  
長谷川 隆代氏 (昭和電線ホールディングス株式会社代表取締役社長 取締役会議長 グループ CEO)
- 「日本におけるアクティビストの動向」 中村 春雄氏 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社取締役副社長)  
別所 賢作氏 (同 投資銀行本部マネージングディレクター)  
西田 俊彦氏 (同 投資銀行本部エグゼクティブディレクター)
- 「逆・タイムマシン経営論」 楠木 建氏 (一橋ビジネススクール教授)
- 「これからのガバナンスのあり方を巡って～「事業再編実務指針」及び「社外取締役の在り方に関する実務指針」について」  
坂本 里和氏 (経済産業省 経済産業政策局総務課長)
- 「建設業の革新を支える IoT プラットフォーム・ビジネス、ランドログの全容」  
井川 甲作氏 (株式会社ランドログ代表取締役社長)
- 「第3の創業 ブリヂストン流のグローバル・サステナブル経営への挑戦」  
石橋 秀一氏 (株式会社ブリヂストン取締役代表執行役 Global CEO)
- 「グローバリゼーションとリーダーシップ」 川名 浩一氏 (前日揮株式会社代表取締役社長)
- 「自律的で創造的な新しい大学モデルの構築を目指して」 藤井 輝夫氏 (東京大学総長)
- 「会社の新しい形を求めて～なぜミルトン・フリードマンは会社についてすべて間違えたのか」  
岩井 克人氏 (東京大学名誉教授/公益財団法人東京財団政策研究所名誉研究員)
- 「総括」 富山 和彦 (株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長  
株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長)  
新宅 純二郎 (経営研究所副所長/東京大学大学院経済学研究科教授)  
内野 崇 (経営研究所代表理事/学習院大学名誉教授)

## 【コーディネータ紹介】

### 富山 和彦

株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長・株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長・公益社団法人経済同友会政策審議会委員長。

<主な著書>近著に『新L型経済 コロナ後の日本を立て直す』(共著)、『「不連続な変化の時代」を生き抜く リーダーの「挫折力」』『コーポレート・トランスフォーメーション 日本の会社をつくり変える』『コロナショック・サバイバル 日本経済復興計画』『なぜローカル経済から日本は甦るのか GとLの経済成長戦略』他。

### 新宅純二郎

東京大学大学院経済学研究科教授・ものづくり経営研究センター長、国際ビジネス研究会会長、経営研究所副所長、GBRC 常任理事。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、経済学博士。研究分野、経営戦略・国際経営。

<主な著書>『日本企業の競争戦略』(有斐閣)、『経営戦略入門』(共著、日本経済新聞出版社)、『ものづくりの国際経営戦略』『新興国市場戦略論』(共編著、いずれも有斐閣)、『コンセンサス標準戦略』(共編著、日本経済新聞出版社)、『ケースに学ぶ国際経営』(共編著、有斐閣)、『日本のものづくりの底力』(共編著、東洋経済新報社)、『ものづくりの反撃』(共編著、筑摩書房)他。

### 内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)、『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)他多数。

## 【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

## 【経営研究所の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションにつづいて、参加者(ビジネスパーソンと研究者が中心)との間で、各回1時間ないし1時間半にわたって議論を重ねます。

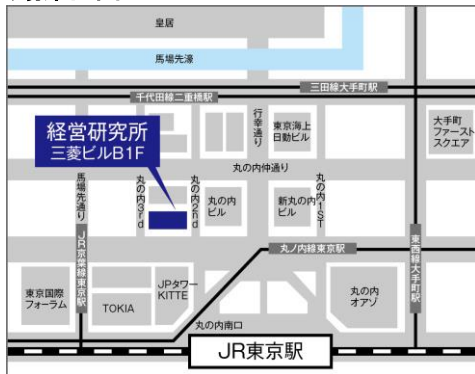
単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知らるびに実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

**【参加申込方法】**

- 年会費** 1社 400,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)  
 \*年度途中のご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間となります。  
 次年度より自動更新となります。
- 申込方法** 所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご送付下さい。  
**参加は会社単位で、1社5名の会員の登録ができます。**  
 月例会には2名迄ご出席頂けます。登録者以外の代理出席はご遠慮いただいております。  
 なお、オンライン開催に限りまして、**登録者全員(5名)のご参加を承ります。**
- 連絡先** 一般社団法人 経営研究所 事務局  
 〒100-0005東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F  
 TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208  
 E-mail: keieikenkyusho@keieik.or.jp / URL: http://www.keieik.or.jp



**会場案内図**



**【三菱ビルへの行き方】**

- ・JR  
 「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分  
 京葉線「東京駅」10番出口より直結
- ・地下鉄  
 千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分  
 丸ノ内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分  
 都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分  
 東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

**2022年度  
 これからの企業経営を考える研究会 参加申込書**

年 月 日

会社名  
 所在地 〒

	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	
	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	
	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	
	ふりがな <b>登録者氏名</b>	TEL E-mail
	所属部署および役職名	

※請求書送付先は、こちらに丸印をつけて下さい。  
 下記の該当箇所には☑をご記入ください。

◆請求書発行方法 郵送 PDF メール添付 郵送とPDF メール添付